

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 6年 3月 19日

公表：令和 6年 3月 25日

事業所名 い〜まCrea中川川

|                              | チェック項目  | はい | いいえ                                    | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標  |
|------------------------------|---|----|--|---|---|
| 体制                           | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である   | ○  |  | 室内の配置を適宜見直しスペースの確保に努めている                          |   |
|                              | 2 職員の配置数は適切である  | ○  |  |   |   |
|                              | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている  |    | ○                                      | 玄関の土間にすのこを設置し段差を軽減している                            |   |
| 業務改善                         | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している                                     | ○  |  | 目標管理シートや職員考課を実施し、半期ごとに振り返りをしている                   |   |
|                              | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている                          | ○  |  |   |   |
|                              | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している  | ○  |  |   |   |
|                              | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている  |    | ○                                      |   |   |
| 支援の                          | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している   | ○  |  | 社内研修、事業所内研修を年に数回実施している。                           |   |
|                              | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している                      | ○  |  | 6ヶ月に1回モニタリングを行い、客観的な分析となるよう努めている                  |   |
|                              | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                                     | ○  |  |   |   |
|                              | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている   | ○  |  |   |   |
|                              | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している   | ○  |  | 個別の課題設定を行っている                                     | 弊社事業所間で情報交換を行ったり、利用者自身に感想やアイデアを募るなど、新たな活動について考える機会を設け固定化しないよう工夫する |
|                              | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している   | ○  |  |   | 単発的な課題、数回で一つのテーマを取り扱う課題など、目的や手段に応じて使い分けていく                        |
|                              | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している                             | ○  |  | 個別活動と集団活動を組み合わせさせて実施している                          |   |
|                              | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                 | ○  |  | 支援開始前の申し送りでの状況の把握や対応の統一について確認している                 |   |
|                              | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                            | ○  |  |   |   |
|                              | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている  | ○  |  | 普段と異なる様子や気になる変化などメモに残して共有している                     |   |
| 保護者                          | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                                      | ○  |  | 毎月の事業所会議でケースカンファレンスを行い計画の修正案や対応策を検討している           |   |
|                              | 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている  | ○  |  |   |   |
|                              | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                              |    | ○                                      | 事例無し  | 担当者会議があれば最もふさわしい者が参画したい。  |
|                              | 21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている          | ○  |  | 送迎の際に確認したり、学校からのお知らせのコピーをいただいたりして情報共有に努めている       |   |
|                              | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                                      |    | ○                                      | 事例無し  | 医療的ケア児がいれば連絡体制を整えたい。  |
|                              | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                         |    | ○                                      | 事例無し  |   |
|                              | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している              | ○  |  | 相談員などを通じて想定される課題点や、問題行動に対する対処法など伝えている             |   |
|                              | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                                   | ○  |  |   |   |
|                              | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある  |    | ○                                      |   |   |
|                              | 27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している  | ○  |  |   |   |
| 説明                           | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                 | ○  |  | 送迎の際に実際に話したり、メールや電話等で状況把握や相談に応じている                | なかなか連絡が取りづらい保護者に対して意識して連絡を取るなど共通理解を持てるよう働きかける                     |
|                              | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                                | ○  |  |   |   |
|                              | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | ○  |  |   |   |
|                              | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                       | ○  |  |   |   |
|                              | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                   |    | ○                                      |   | 感染症対策で保護者参観を休止していたが、できる方法で再開を検討する                                 |
|                              | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している             | ○  |  | 基本的には即日聞き取り等を行い、迅速な対応を心掛けている                      |   |
|                              | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                               | ○  |  | 置郵時の対応や、変更をお願いするものは書面で案内を発行したり、電話で確実にお伝えするようにしている |   |
|                              | 35 個人情報に十分注意している  | ○  |  | 写真や映像だけでなく、保護者への情報の伝え方にも気を付けている                   |   |
| 時等の                          | 36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | ○  |  |   |   |
|                              | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   |    | ○                                      |   |   |
|                              | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | ○  |  |   |   |
|                              | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | ○  |  | 訓練実施曜日や訓練内容に備わらないように計画している                        |   |
|                              | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | ○  |  | 全職員対象に事業所内での研修会を実施している                            |   |
|                              | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○  |  | 詳細を説明し、ご理解いただいたうえで了解を得ている                         |   |
|                              | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   |    | ○                                      | 現在事例なし  | 今後食物アレルギーのある利用者がいた場合、医師の指示に基づいた対応を行う                              |
| 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○   |    | 事業所会議にて取り上げ、対策や、ほかに起こりそうな事業について話し合っている |   |   |